

2026 年 2 月 6 日

NEWS RELEASE

「金融商品に関する会計基準（案）」等について 意見書を提出

公益社団法人日本証券アナリスト協会（会長：鳥海 智絵 野村證券株式会社 代表取締役副社長）は、企業会計基準委員会（以下、ASBJ）が 2025 年 10 月 29 日に公表した企業会計基準公開草案第 89 号「金融商品に関する会計基準（案）」等（以下、本公開草案）について、2026 年 2 月 6 日に意見書を提出しました。

【意見書のポイント】

- 本公開草案の各提案に同意する。国際的な整合性を踏まえ IFRS 会計基準のモデルを開発の基礎としつつ、一方で、国内の実務や会計慣行にも配慮し、国際的な比較可能性を大きく損なわせない範囲で代替的な取り扱いを定めて、予想信用損失モデルを導入した点を評価する。アナリスト・投資家の視点からは、海外の大手企業と比較が容易であり、財務データを容易に把握しやすいことが、資本コストの低下につながると考える。
- ただし、ステップ 4 で開発された「簡素化された予想信用損失の算定方法」については、説明の一層の明確化と開示の充実が必要であると考えます。
- アナリスト・投資家は、グローバル運用で投資対象となり得る時価総額の大きな金融機関については、国際的な比較可能性の観点から、「簡素化された予想損失の算定方法」ではなく「原則的な予想損失の算定方法」の適用を期待している。したがって、「簡素化された予想信用損失の算定方法」の適用有無を把握できるようにするため、当該方法を適用している場合にはその旨及び正常先の区分方法を開示要求事項として定めるべきである。

【添付資料】企業会計基準公開草案第 89 号「金融商品に関する会計基準（案）」等について

本件に関するお問い合わせは下記まで



公益社団法人
日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1200

担当：企業会計第 2 部長 土谷 敬